

一般質問通告一覧表【令和元年第3回（9月）定例会】

【日時】 9月4日（水）、5日（木） 各日午前9時～

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (120分)	岡 英昭	<p>1 東海環状自動車道の市内IC等周辺の整備計画について (1)大安ICの1日当たりの利用状況は。 (2)大安IC開通に伴う騒音、粉塵など環境への影響は出ていないか。 (3)大安IC周辺の旧福祉センター候補地や旧サラダコスモ誘致候補地を含めた市有地等今後の利用計画は。 (4)大安IC～東員IC間は支柱北側のみ2車線だが、複線化の予定はあるのか。 (5)仮称「北勢IC」は新庁舎も近くに開庁し、いなべ市の玄関口としていなべを全国に知らしめるべく「いなべIC」という潇洒な名称とすべきと考えるが、正式名称「いなべIC」実現への意欲、要請手続きの手順は。</p> <p>2 いなべ市関係の選挙について (1)投票率向上への対策は講じているか。 (2)国政選挙、県議会議員選挙、市長・議員選挙の立候補者ポスター掲示板のそれぞれの設置箇所数は。 (3)掲示板設置業者の選定方法は。 (4)選挙終了後のポスターの取り扱いの正式な役割は。(業者、候補者) (5)旧町別投票所の数は。開票開始時間、開票作業職員数は。 (6)無投票になった場合と選挙実施の場合との選挙費用の差は。 (7)開票作業は日曜日の夜間となり、平常より過重な勤務となるが、職員についてはどのように手当等が支給されるのか。</p> <p>3 いなべ市の平和推進について (1)推進団体には原水爆禁止日本会議、日本原水爆禁止協議会、核禁止会議、原水爆禁止国民会議などがあるが、どのような団体に支出しているのか。 (2)どんな基準でどの団体にいくらずつ出しているのか。 (3)祈念式典へいなべ市からの出席派遣、職員団体での動員参加はしているのか。 (4)いずれの日にも旧員弁庁舎では国旗を半旗にして、国難に殉じられた方々への追悼と弔意を表してもらい、感佩に堪えない。新庁舎においては国旗の“常設掲揚”となっているが、半旗についてはどのような取り扱いになっているのか。 (5)いなべ市が非核平和都市宣言をしていることで、どのような行動が他団体等から求められるのか。また、市としてどんな動きを行っているのか。 (6)全国的に戦没者遺族が高齢化して、出席者が減少しているということだが、市主催追悼式の戦没者遺族への招待軒数・出席率、国以外の市の支援は。 (7)各地域での市長が出席する追悼式の件数は。市の補助は。</p>
2		小川 幹則	<p>1 空き家対策について (1)今後の空き家への取り組みについて (2)民泊事業について</p> <p>2 図書事業について (1)図書通帳の活用について (2)絵本手帳に対する認識と活用する考えは</p> <p>3 総合窓口事業について (1)窓口での外国人対応について (2)総合窓口の業務について (3)今後の総合窓口に対する市長の所見は</p>

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
3	政和会 (60分)	西井 真理子	<p>1 ダイバーシティの実現に向けて</p> <p>(1)現在、ダイバーシティ実現に向けて取り組んでいることは。 (2)学校教育、市職員、市民が一人ひとりのちがいを知ること、多様性の大切さを学ぶことが必要である。市の考えは。 (3)LGBTの理解促進に関する取り組みは。 (4)外国人労働者の住みやすい環境を整えるために、市の役割と受け入れに対する考えは。 (5)ダイバーシティ実現に取り組むことでどのような効果が期待されると考えるか。 (6)今後の方針と近い将来、新たに取り組もうとしていることは。</p>
4		篠原 史紀	<p>1 市民の命を守る防災施策を質す</p> <p>(1)昨年の台風21号の被害を受けて、市が新たに実施した点検・対策について (2)南海トラフなど大規模地震を想定した防災対策について (3)市民の防災意識の啓発、防災及び災害時広報について</p> <p>2 新庁舎を有する阿下喜地区の交通安全強化策を質す</p> <p>(1)阿下喜交差点から県道25号線における交通安全確保に関する課題と対策は。 (2)阿下喜・本町通り及びほくせい保育園沿道道路のこどもの交通安全確保のためのカラー舗装整備等が必要と考えるが市の見解は。 (3)にぎわいの森の案内看板及び誘導ルートに関する課題と対策は。</p> <p>3 市民の声を市政に活かすための広聴事業を質す</p> <p>(1)多くの市民よりパブリックコメント及び広聴事業等、市政に関する意見をもらうことは市政を充実するために重要だと考えるが、現在、実施されている公聴手段は。 (2)市民の声をもらった場合、以後の市の具体的な対応は。</p>
5	創風会 (180分)	片山 秀樹	<p>1 認知症への対応について問う</p> <p>(1)3月定例議会で質問した認知症の症状がある方が起こした事故に対する損害補償を家族に代わって補償するという提案をし、実施するという回答だったが、進ちょく状況、考えられる補償等について質問する。 (2)認知症の症状がある方が相談する市役所(福祉部)、社協、包括支援センターについて問う (3)認知症対応のニーズについて福祉部はどのように考えているのか</p> <p>2 公共の福祉と個人の財産(土地)について問う</p> <p>(1)憲法29条にある公共の福祉のために正当な補償により個人の土地を使用することができるかとあるがいなべ市内での対応と基本的な考えを問う (2)地籍調査の問題点について問う</p>
6		伊藤 智子	<p>1 グリーンツーリズムについて</p> <p>(1)中山間地域5つのモデル地区の足どりと現在は。 (2)市内の他の団体との連携は。 (3)いなべ市として、この事業に対する位置づけは。 (4)課題は。 (5)今後の計画は。</p> <p>2 三重とこわか国体・大会について</p> <p>(1)2021年の第76回国民体育大会と第21回全国障害者スポーツ大会が三重県で「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」と銘打って行われる。いなべ市では、正式競技の「ハンドボール(少年男子)」と「自転車ロードレース」が開催される。2020年には三重とこわかリハーサル大会も行われるがいなべ市の進捗状況と課題は。</p>

			(2)令和元年度第2回(6月)定例会において、「全市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成が必要ではないか」また、「子供たちの豊かな感性・創造性・思いやりの心を育み、超高齢化社会を見据え高齢者がいきいきと文化芸術活動に関わっていくことは重要だ」と提言した。その答弁として「今後、教育委員会を中心とした市全体の取り組みとして2年後の三重国体、来年のプレ国体の開催に向けて、世代間交流を念頭において・おもてなし講座・ボランティア講座・花いっぱい運動・クリーンアップ運動を行ないたいと考えている。とこわか国体を契機に、おもてなしの心を育み、ボランティア精神の気運を高めることは、芸術文化の振興に寄与するものであり、一過性のもので無く将来の芸術文化活動の基礎となるものとする」という答弁だった。進捗状況と課題は。
順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
7	かがやき (90分)	位田 まさ子	<p>1 にぎわいの森について</p> <p>(1)オープン以来、来客数の推移は</p> <p>(2)これまでに市へ寄せられた市民及び来訪者からの意見・要望の主なものとそれらに対する対応は</p> <p>(3)今後の運営に関する計画・体制は。いつ頃、地域商社へ移行するのか。</p> <p>2 地域医療について</p> <p>(1)いなべ総合病院の医師確保の進捗状況は</p> <p>(2)医師確保に伴い、救急医療受け入れ態勢に変化は出ているか</p> <p>(3)JA三重厚生連三重北医療センターいなべ総合病院と菟野厚生病院が治療連携するにあたって、福祉バス連結に対する考えは。</p> <p>3 いなべの子どもを守る</p> <p>以前(平成30年9月議会)の一般質問での家庭児童相談室、及び児童相談所の答弁を鑑み、その後、改善、努力は数字に見えているか。直近の相談件数は。</p>
8		神谷 篤	<p>1 6月議会における市長の答弁について</p> <p>(1)労働であれ、旅行であれ、いなべ市を訪れる外国人の国籍によって受け入れ側の対応に差がある発言があったこと、どの国から来てもらっても受け入れられる環境・心情がある市民がいるにもかかわらず、いなべ市民に「抵抗感がある」と決めつけている二つの面から、発言が不適切であると思うが、反省することはないか。</p> <p>(2)市民として受け入れているのだから、当然サポートすべきであると思うが、どうか。</p> <p>2 いなべ市内でついに発生した豚コレラ感染について</p> <p>(1)飼養豚が感染した状況について、県から説明を受けたことは。</p> <p>(2)この件に関わっての市の対応について。</p> <p>(3)今回の豚コレラ感染を巡って、感染を防ぐ対策について課題として考えられることは。</p> <p>3 先日発表された『学力テスト』について</p> <p>(1)今回の『学力テスト』結果の状況について</p> <p>(2)『学力テスト』実施に関わって、問題だと考えられている点は。</p> <p>(3)本来つけたいと願っている学力とは。</p> <p>(4)豊かな学力を補償するために、何を為すべきと考えられていること。</p>

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
9	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	岡 恒和	<p>1 小中学校教育の現状と課題について</p> <p>(1) 学習環境に関して…いなべ市の学級編成基準は国、県の少人数化割合に加え、どのような措置がなされているか。</p> <p>(2) 困難を伴う子どもたちへの加配措置はどのような内容、基準で行なわれているか。</p> <p>(3) 今後必要となる学習環境づくりの重点は何か。</p> <p>(4) 労働環境について…教職員の時間外勤務の状況はどのように推移しているか。</p> <p>(5) 教育職員の年次有給休暇取得数はどのように推移しているか。</p> <p>(6) 土曜授業などによる振替はどのように行なっているか。</p> <p>(7) 改正された労基法への対応は。</p> <p>(8) 学校の多忙化対策や時間外勤務の削減など今後の課題と対応は。</p> <p>2 にぎわいの森について</p> <p>(1) 来客者数はどのように推移しているか。</p> <p>(2) 市内客、市外客の割合は。</p> <p>(3) 駐車場整理やシビックコアの休日開放など店舗経営と市の関わりは、どこを限界とするのか。</p> <p>(4) 近隣店舗への影響は。</p> <p>(5) にぎわいの森運営協議会の役割と運営状況は。</p>
10		衣笠 民子	<p>1 多様性を認め合う社会へ</p> <p>(1) 外国人住民の対応、国際交流について所管部署、市の考え方、外国人住民の日常の困りごと解決など生活面の対応などは。</p> <p>(2) 男女平等および多様な性の尊重について 平成30年度施政方針で「いなべ市は他市に先駆けこの持続可能な開発目標SDGs未来都市への取り組みを始めます」とされている。SDGsに掲げられている17項目の全世界共通のゴールに「⑤ジェンダー平等を実現しよう」があるが、いなべ市の取り組み状況、方向性は。</p> <p>2 子育て施策の充実で移住・定住の促進を</p> <p>(1) 給食費の無料化について これまでの度重なる議会での議論で、多くの子ども、子育て世帯に恩恵があること（就学援助等で支援しているのは平成29年度で139世帯に過ぎない）、財源は、給食費は食材費であり、食材購入をいなべ市内業者から購入し市内事業者の経済循環になると考えれば、類似団体より商工費の少ないいなべ市は商工費を増やすと考えればできないことはない金額であることが明らかになった。あとは市長がすると決断するかどうかだが考えは。</p> <p>(2) 子どもの医療費無料化について 子どもの医療費無料の所得制限撤廃と窓口無料年齢の引き上げ</p> <p>(3) 国民健康保険料の子ども均等割減免について質問したところ、市長は「貴重な意見として賜っておく」との答弁だった。検討の結果は。</p>